



あつという間に梅雨が終わりましたが、天気の良い日が続くと思いきや、雨が降りじめじめとすっきりしない季節となりましたね。

天気の良い日にはテラスに出て水遊びをしたり、園庭に出て泥んこ遊びをしたりと夏ならではの遊びを満喫しています。水遊びを始めた頃は、顔に水がかかる事が嫌でお友だちが遊んでいる所にも近寄れず、「こっちで一緒に遊ぼう」と誘っても隅の方で遊んでいる様子を見ているだけの子どももいました。しかし、テラスでベビーバスを使い水遊びの回数を重ねていくうちに、ベビーバスの周りに集まってヤクルトなどの小さな容器や小さなジョウロに水を入れ落ちていく水を見て楽しめるようになってきました。ベビーバスに入っている水をペットボトルに入れていき、ポコポコと泡が出てくるのを見て泡を掴もうとしたり、「わー！」と驚いたり様々な様子が見られますよ。

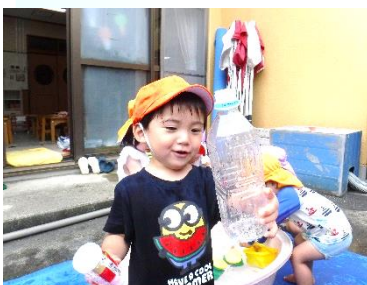
まだまだ暑い日が続くそうなので、これからも“今しかできない”夏ならではの遊びを取り入れて行こうと思います。



みずあそび

小さな容器に水を入れ、その水をペットボトルに移そうとチャレンジするSくん。ペットボトルの口と容器の口を合わせて水を入れようとしますが、ペットボトルの口が小さいため、思うように水が入っていきません。手を添えて補助しようかなとしばらく見守っていると、Sくんはすこーだけ水の入ったペットボトルをととても満足そうに眺めていました。「自分で出来た」という達成感を味わうことが出来、つぎはもっとたくさん！とやる気満々の様子でした。

保育者がベビーバスに水を追加しようと水を出していると手で触ってみようとする子どもたち。勢いよく水が出ているので、跳ね返りが激しく顔に水しぶきが…それでも水を触ってみたい、冷たさを感じたいと水の吹き出し口に頭を近づけ、水を被ろうと挑戦する子どももいました。(笑)



あわあそび

たらいの中で石鹸を泡立てたくさんの泡を作りました。はじめは、腕や手、体などに泡を付けて遊んでいました。しばらくするとなんとかして小さな容器やペットボトルに泡を入れようとする子どもたち。しばらく見守っていたのですが、せっかたくさんの泡が出来たのでカップの中に入れて「アイス屋さんです。いらっしやいませ！」と声をかけてみました。すると、「アイス！」と喜んで受取ってくれましたよ。泡が白色だったので、ヨーグルトにも見立てて「アイスとヨーグルトどっちがいい？」と子どもたちとやり取りしながら泡遊びを楽しみました。



★色水遊びや泥遊びなど夏ならではの遊びをたくさんしています。次回の通信でまたお伝えしますね★